

令和4年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

| | |
|---------------|---|
| 事業名 | 美術館を学校で楽しもう 出張美術館で秀作絵画・彫刻に触れる安曇野アートライン展 |
| 事業主体 (連絡先) | 安曇野アートライン推進協議会 (事務局) 大町市教育委員会生涯学習課 |
| 事業区分 | 教育、文化の振興 |
| 事業タイプ | ソフト |
| 総事業費 | 444,292円 (うち支援金: 333,000円) |

事業内容

日時: 10月13(木)～14(金)(2日間)
会場: 小谷村立小谷中学校 多目的室
展示作品: 安曇野アートライン推進協議会加盟館の中の
12館より出品
油彩画、水彩画、版画、写真、彫刻ほか合計20点

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ・ギャラリートークを行うことで、機会の少ない美術教育の場を創出でき、生徒たちの豊かな人間形成に寄与できた。
- ・美術館の秀作作品を身近に触れることで、普段美術鑑賞の機会が少ない生徒が美術館・博物館へ関心を持つきっかけづくりとなった。
- ・安曇野アートラインの各館と全体像を紹介することで、自分たちの住む地域が、日本でも稀な美術館・博物館・記念館の宝庫であることを知ってもらい、生徒には地域住民としての誇りと、近隣の美術館等に親近感を抱いてもらえた。
- ・美しい作品を鑑賞する機会を提供することで、生徒たちの感性が育まれ、多様な価値観を持つことができ、情操教育の一助となった。
- ・ギャラリートークを同一会場で行い、各館の取組みやトークを共有することで、学芸員の情報交換・交流の場となったとともに、学芸員の質の向上につながった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- ・制作したガイドブックの発信を強化し、一層の地域への定着と観光客の獲得に向けて活動してまいります。
- ・出張美術館については、一定の手応えを感じているので管内教育委員会と連携して美術教育の推進に努めます。

※自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

- 「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた
「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある



【出張美術館】

【目標・ねらい】

- ①アートライン加盟館の魅力発信と認知度の向上
- ②美術教育、情操教育の推進と普及

※自己評価 【 B 】

【理由】

- ・コロナ渦により規模の縮小を余儀なくされたものの、組織一体となって計画を遂行し到達目標に達したため。